

第3章 障がい者の推移と推計

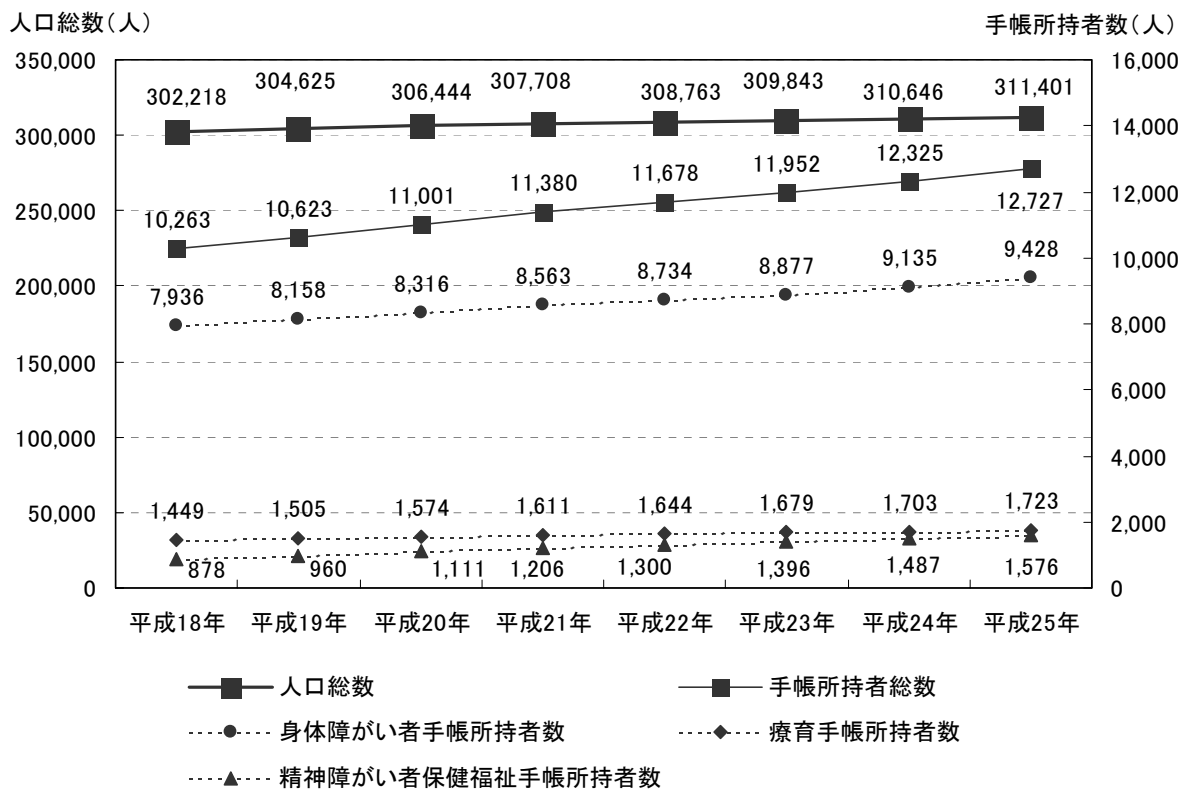
1 本市の人口および障がい者の推移と推計

本市の総人口は、平成18年10月1日現在で302,218人、平成20年10月1日現在306,444人となっており、増加傾向となっています。目標年次の平成25年の総人口は311,401人、障がい者手帳所持者数は12,727人と推計されます。

また、本市の総人口に対する各障がい者手帳所持者数の比率をみると、平成20年10月1日現在で、手帳所持者数全体で3.59%、身体障がい者手帳所持者数で2.71%、療育手帳所持者数で0.51%、精神障がい者保健福祉手帳所持者数で0.36%となっており、各障がい者手帳所持者数の比率は年々増加しています。目標年次の平成25年で、手帳所持者数全体で4.09%、身体障がい者手帳所持者数で3.03%、療育手帳所持者数で0.55%、精神障がい者保健福祉手帳所持者数で0.51%と推計されます。

平成20年10月1日現在の障がい者手帳所持者の種類別構成比をみると、身体障がい者手帳所持者が75.6%（8,316人）、療育手帳所持者が14.3%（1,574人）、精神障がい者保健福祉手帳所持者が10.1%（1,111人）となっています。

図表 本市の総人口と各障がい者手帳所持者数の推移と推計



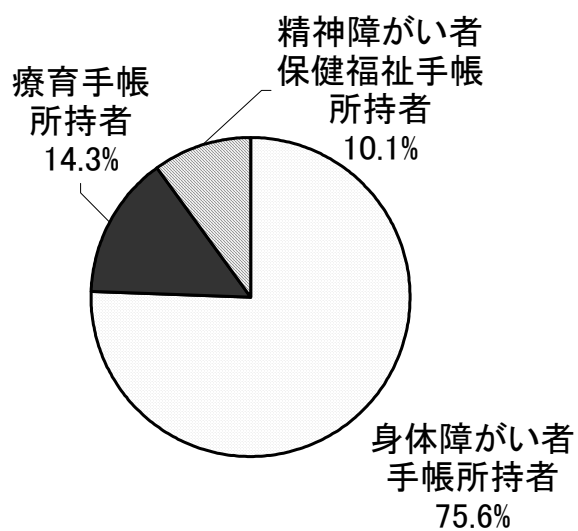
各年 10月1日現在 平成21年以降は推計値

(単位：人)

区 分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
人口総数	302,218	304,625	306,444	307,708	308,763	309,843	310,646	311,401
手帳所持者総数	10,263	10,623	11,001	11,380	11,678	11,952	12,325	12,727
対総人口比率	3.40%	3.49%	3.59%	3.70%	3.78%	3.86%	3.97%	4.09%
内 訳	身体障がい者手帳所持者数	7,936	8,158	8,316	8,563	8,734	9,135	9,428
	対総人口比率	2.63%	2.68%	2.71%	2.78%	2.83%	2.86%	2.94%
	療育手帳所持者数	1,449	1,505	1,574	1,611	1,644	1,679	1,703
	対総人口比率	0.48%	0.49%	0.51%	0.52%	0.53%	0.54%	0.55%
	精神障がい者保健福祉手帳所持者数	878	960	1,111	1,206	1,300	1,396	1,487
	対総人口比率	0.29%	0.32%	0.36%	0.39%	0.42%	0.45%	0.48%

各年 10月1日現在 平成21年以降は推計値

図表 障がい者手帳所持者の種類別構成比（平成20年10月1日）



区 分	人数	割合 (%)
身体障がい者手帳所持者	8,316	75.6
療育手帳所持者	1,574	14.3
精神障がい者保健福祉手帳所持者	1,111	10.1
計	11,001	100.0

2 年齢別手帳所持者数などの推移と推計

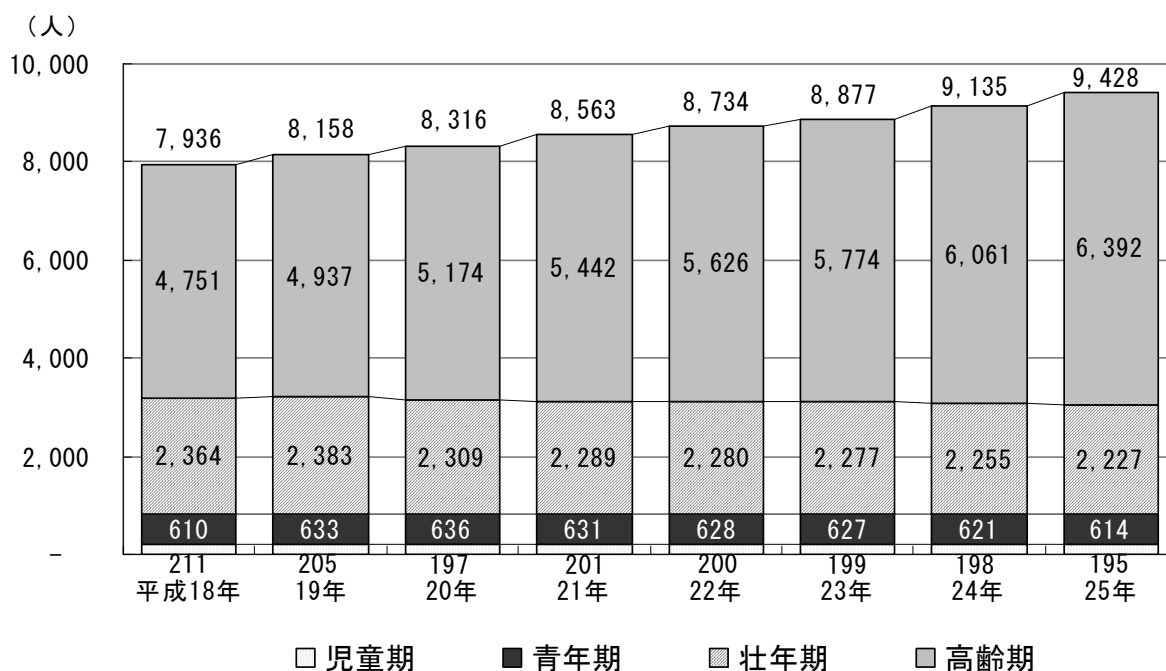
(1) 身体障がい者手帳所持者の推移と推計

年齢別の身体障がい者手帳所持者数の推移をみると、青年期、高齢期の方がともに増加しています。平成20年10月1日現在の身体障がい者手帳所持者の年齢別構成比をみると、高齢期の方が62.22%と最も多く、次いで壮年期の方が27.77%となっています。

目標年次の平成25年には、9,428人と推計され、平成20年からの伸び率で13.37%となります。年齢構成でみると、高齢期の伸び率が最も高く、23.54%となっています。

平成20年10月1日現在の身体障がい者手帳所持者の障がい部位別構成比をみると、肢体不自由が55.0%と最も多く、次いで内部障がいが30.6%となっています。等級別でみると、1級が27.2%と最も多く、次いで3級が24.7%となっています。

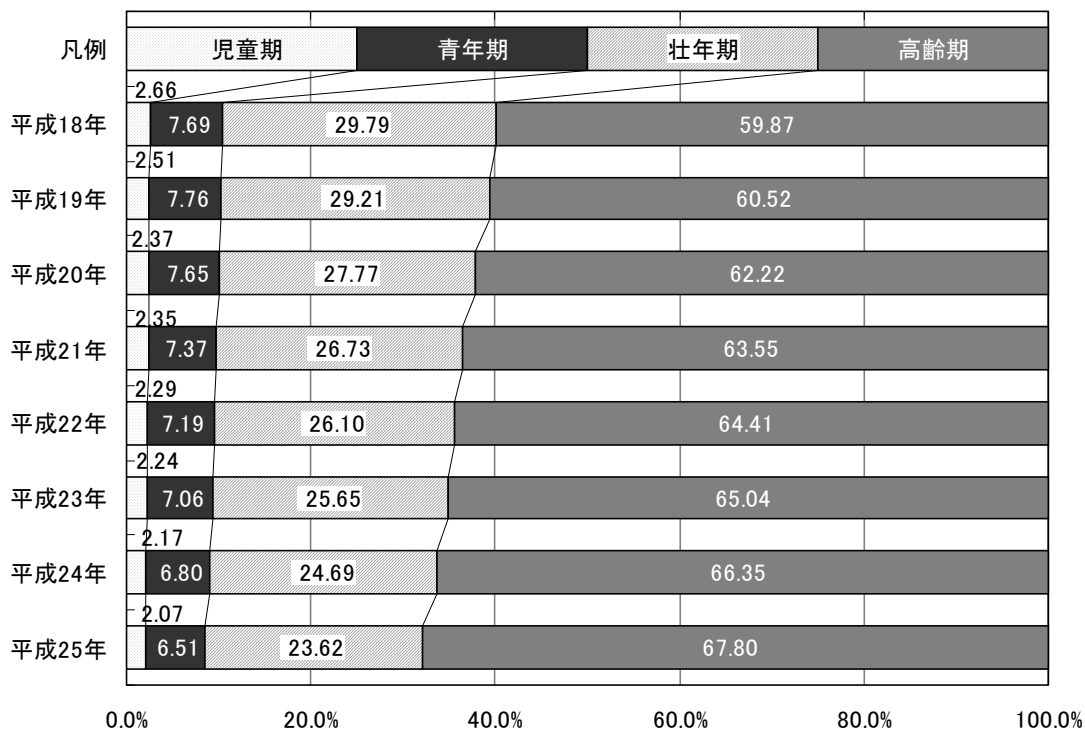
図表 身体障がい者手帳所持者数の年齢別の推移と推計



各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期（18歳未満）、青年期（18～39歳）、壮年期（40～64歳）、高齢期（65歳以上）

図表 身体障がい者手帳所持者の年齢別構成比の推移と推計

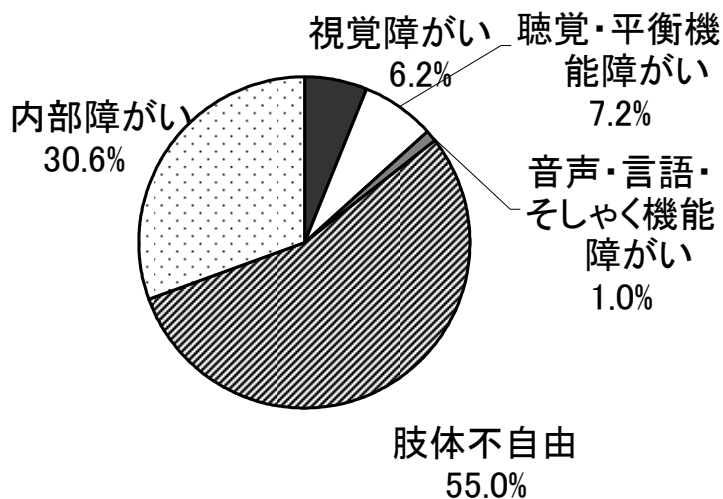


各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

図表 身体障がい者手帳所持者数の平成20年から目標年次平成25年までの伸び率

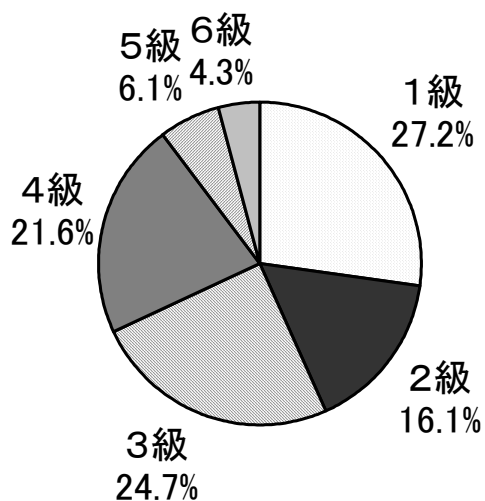
区分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成20年からの伸び率	-1.02%	-3.46%	-3.55%	23.54%	13.37%

図表 身体障がい者手帳所持者の障がい部位別構成比（平成20年10月1日）



区分	人数	割合 (%)
視覚障がい	513	6.2
聴覚・平衡機能障がい	599	7.2
音声・言語・そしゃく機能障がい	83	1.0
肢体不自由	4,580	55.0
内部障がい	2,541	30.6
計	8,316	100.0

図表 身体障がい者手帳所持者等級別構成比（平成20年10月1日）



区分	人数	割合 (%)
1級	2,266	27.2
2級	1,335	16.1
3級	2,058	24.7
4級	1,795	21.6
5級	506	6.1
6級	356	4.3
計	8,316	100.0

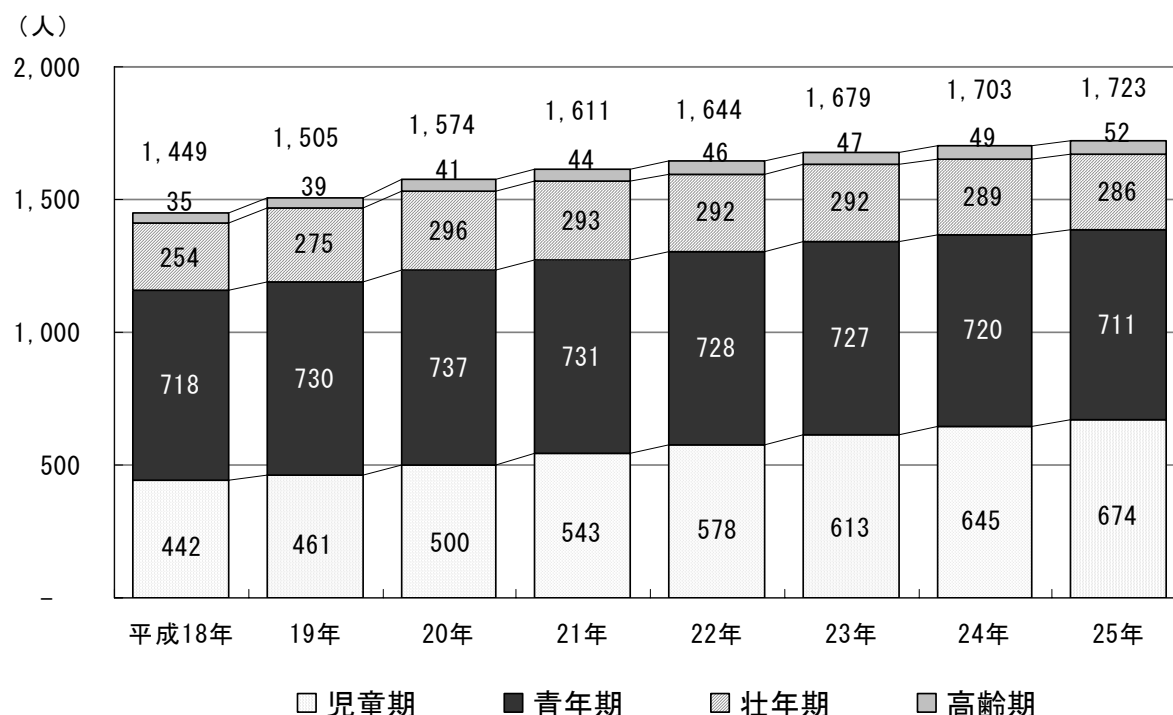
(2) 療育手帳所持者の推移と推計

年齢別の療育手帳所持者数の推移をみると、児童期、青年期、壮年期、高齢期の方がともに増加しています。平成20年10月1日現在の療育手帳所持者の年齢別構成比をみると、青年期の方が46.82%と最も多く、次いで児童期の方が31.77%となっています。

目標年次の平成25年には、1,723人と推計され、平成20年からの伸び率で9.47%となります。年齢構成でみると、児童期の伸び率が最も高く、34.80%となっています。

平成20年10月1日現在の療育手帳所持者の判定別構成比をみると、A判定が47.0%（740人）、B判定が26.1%（411人）、C判定が26.9%（423人）となっています。

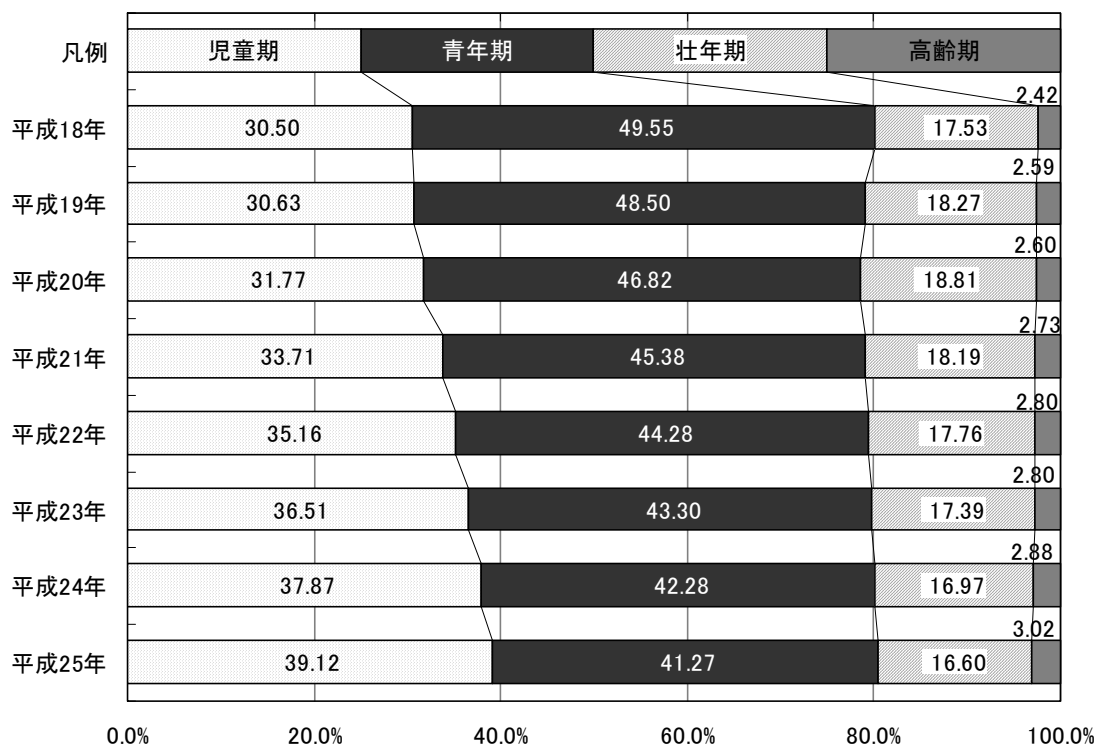
図表 療育手帳所持者数の年齢別の推移と推計



各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期（18歳未満）、青年期（18～39歳）、壮年期（40～64歳）、高齢期（65歳以上）

図表 療育手帳所持者の年齢別構成比の推移と推計

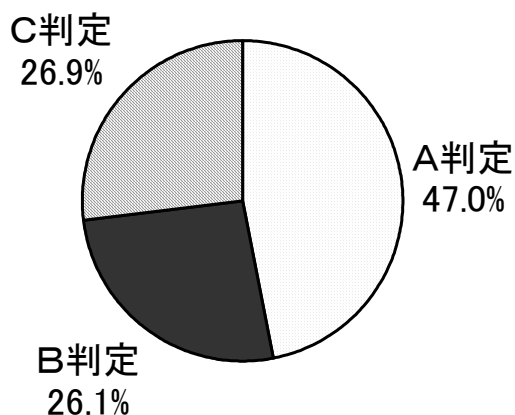


各年 10月1日現在 平成21年以降は推計値

図表 療育手帳所持者数の平成20年から目標年次平成25年までの伸び率

区分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成20年からの伸び率	34.80%	-3.53%	-3.38%	26.83%	9.47%

図表 療育手帳所持者の判定別構成比（平成20年10月1日）



区分	人数	割合 (%)
A判定	740	47.0
B判定	411	26.1
C判定	423	26.9
計	1,574	100.0

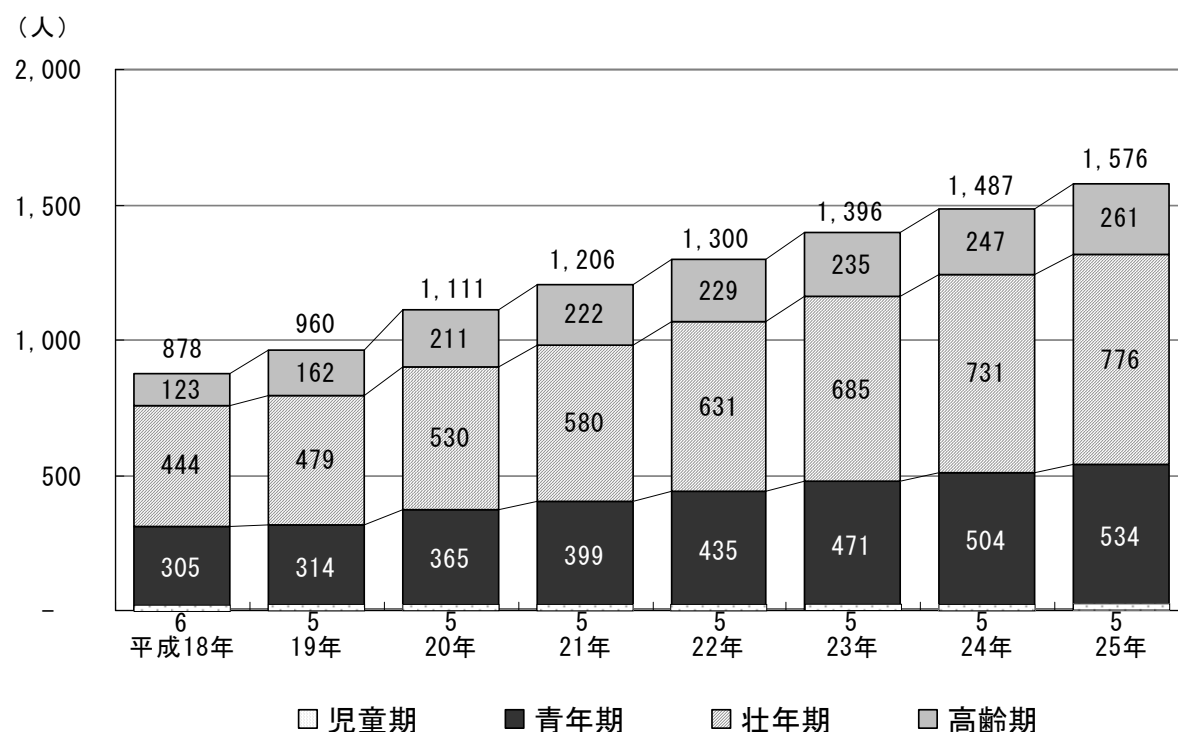
(3) 精神障がい者保健福祉手帳所持者の推移と推計

年齢別の精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移をみると、青年期、壮年期、高齢期の方が増加しています。平成20年10月1日現在の精神障がい者保健福祉手帳所持者の年齢別構成比をみると、壮年期の方が47.70%と最も多く、次いで青年期の方が32.85%となっています。

目標年次の平成25年には、1,576人と推計され、平成20年からの伸び率で41.85%となります。年齢構成でみると、青年期、壮年期の伸び率が高く、それぞれ46.30%、46.42%となっています。

平成20年10月1日現在の精神障がい者保健福祉手帳所持の等級別構成比をみると、1級が10.4%(115人)、2級が64.9%(722人)、3級が24.7%(274人)となっています。

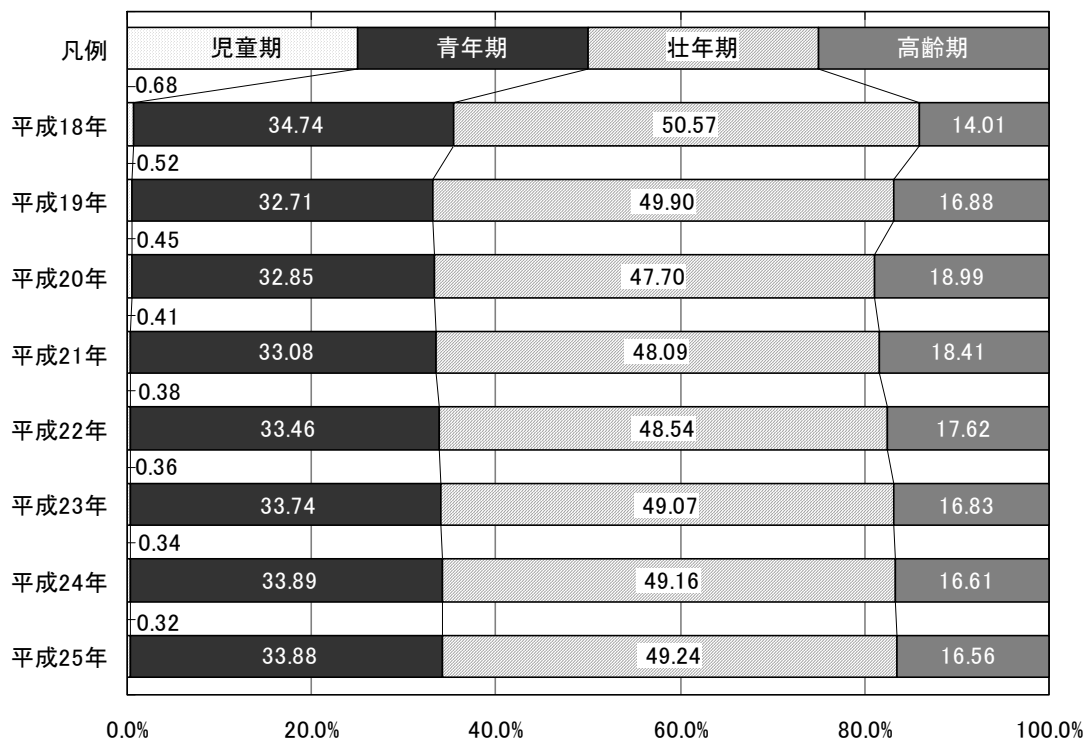
図表 精神障がい者保健福祉手帳所持者数の年齢別の推移と推計



各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期(18歳未満)、青年期(18~39歳)、壮年期(40~64歳)、高齢期(65歳以上)

図表 精神障がい者保健福祉手帳所持者の年齢別構成比の推移と推計



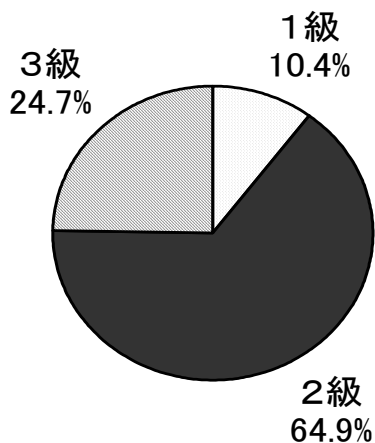
各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

図表 精神障がい者保健福祉手帳所持者数の平成20年から目標年次平成25年までの伸び率

区分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成20年からの伸び率	0.00%	46.30%	46.42%	23.70%	41.85%

図表 精神障がい者保健福祉手帳所持者の等級別構成比

(平成20年10月1日)



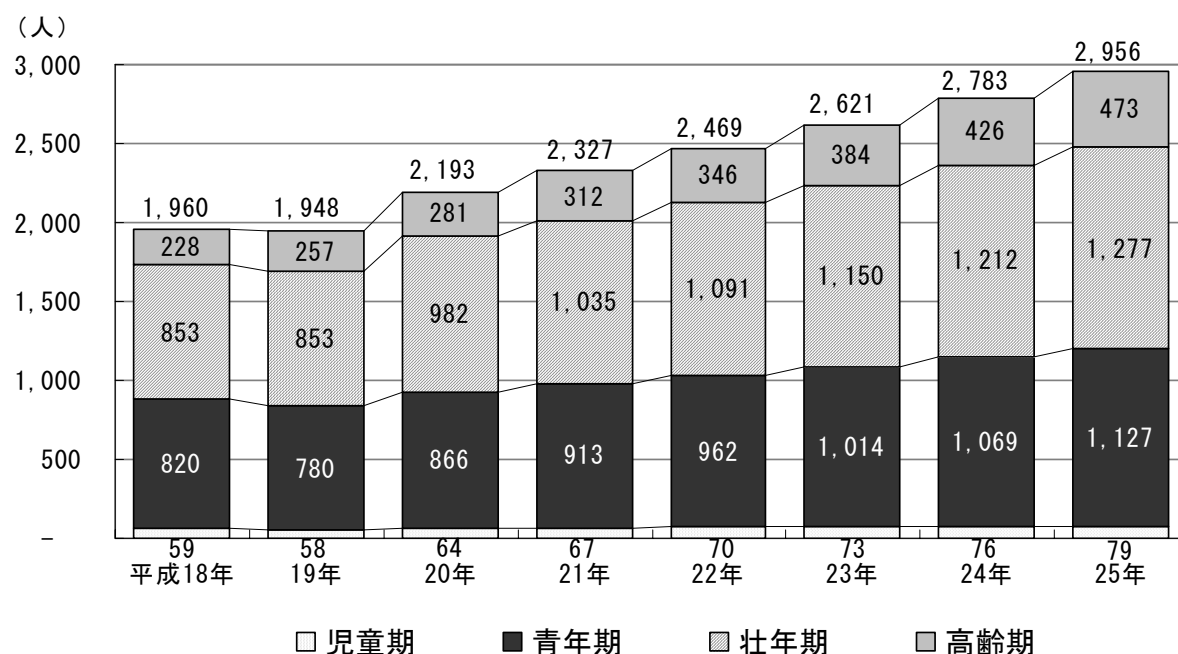
区分	人数	割合(%)
1級	115	10.4
2級	722	64.9
3級	274	24.7
計	1,111	100.0

(4) 自立支援医療（精神通院）受給者数の推移と推計

年齢別の自立支援医療受給者数の推移をみると、児童期、青年期、壮年期、高齢期の方がともに増加傾向となっています。平成20年10月1日現在の自立支援医療受給者数の年齢別構成比をみると、壮年期の方が44.78%と最も多く、次いで青年期の方が39.49%となっています。

目標年次の25年には、2,956人と推計され、平成20年からの伸び率で34.79%となります。年齢構成でみると、高齢期の伸び率が最も高く、68.33%となっています。

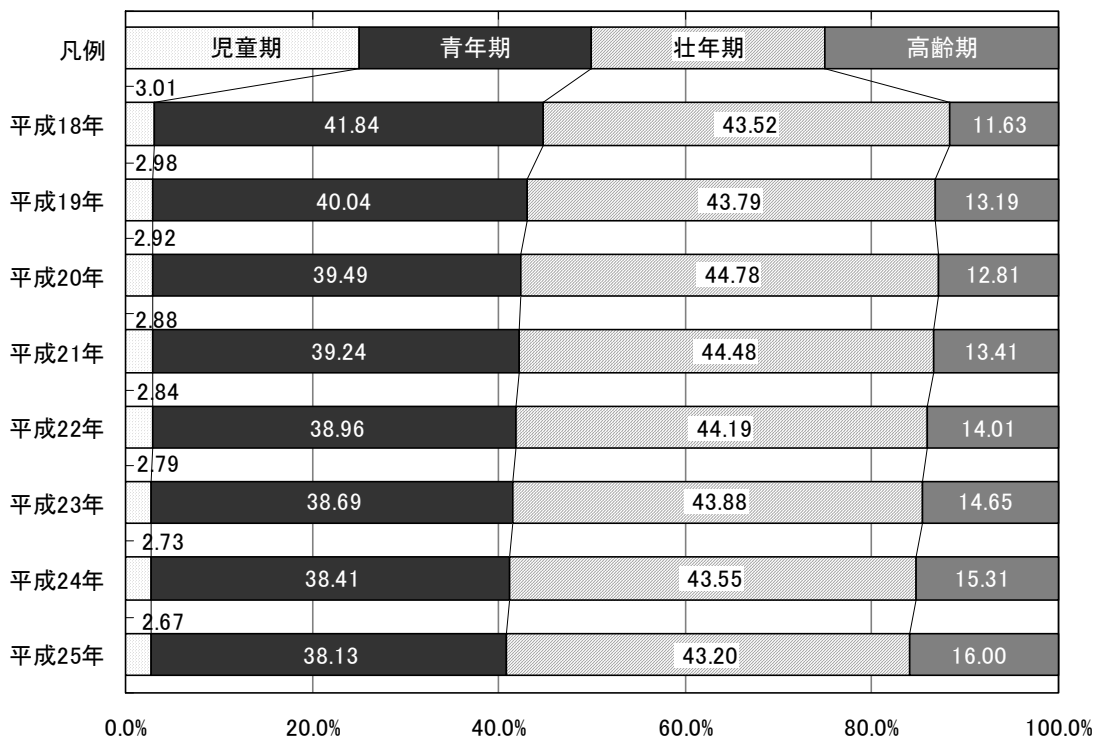
図表 自立支援医療（精神通院）受給者者数の年齢別の推移と推計



各年10月1日現在 平成21年以降は推計値

※年齢区分は、児童期（18歳未満）、青年期（18～39歳）、壮年期（40～64歳）、高齢期（65歳以上）

図表 自立支援医療（精神通院）受給者の年齢別構成比の推移と推計



各年 10月1日現在 平成21年以降は推計値

図表 自立支援医療（精神通院）受給者数の平成20年から目標年次平成25年までの伸び率

区分	児童期	青年期	壮年期	高齢期	合計
平成20年からの伸び率	23.44%	30.14%	30.04%	68.33%	34.79%